

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年1月10日
【四半期会計期間】	第65期第1四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）
【会社名】	ナガイレーベン株式会社
【英訳名】	NAGAI LEBEN Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 澤登 一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区岩本町一丁目2番19号
【電話番号】	03(3863)0371(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大野 和城
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区岩本町一丁目2番19号
【電話番号】	03(3863)0371(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大野 和城
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第1四半期連結 累計期間	第65期 第1四半期連結 累計期間	第64期
会計期間	自平成24年9月1日 至平成24年11月30日	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日	自平成24年9月1日 至平成25年8月31日
売上高(千円)	2,978,967	3,201,320	15,625,092
経常利益(千円)	921,597	1,000,248	5,418,369
四半期(当期)純利益(千円)	563,811	616,285	3,119,278
四半期包括利益又は包括利益(千円)	627,400	715,000	3,442,839
純資産額(千円)	30,502,588	32,262,331	33,088,427
総資産額(千円)	33,526,034	35,443,176	37,054,917
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	16.37	18.00	90.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	91.0	91.0	89.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に円高水準の是正や株価の上昇がみられ、国内景気は緩やかながら回復を感じられる状況となりましたが、新興国経済の減速懸念や世界経済の不安定要因など、先行き不透明な状態で推移いたしました。

医療・介護を取り巻く環境としましては、来年4月実施の診療報酬改定に向け、政府内において議論が活発に行われているところであります。介護報酬も含め消費税増税分の引上げ率や薬価基準と本体の一体化の問題、医療の機能分化と連携の推進と増大する国民医療費の抑制の問題等、社会保障の新たな枠組みに向けての協議が継続中であり、業界はその行方を静観している状況であります。

しかしながらメディカルウェア業界におきましては、第1四半期間ではその影響はほとんどなく、更新が順調に実施されるなど、市場は前期から引き続き安定したまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主力のヘルスケアウェア、ドクターウェアが順調に拡大し、また手術ウェア、患者ウェアの周辺市場も好調であった結果、第1四半期累計として過去最高の売上・営業利益を達成することとなりました。

生産に関する状況といたしましては、各種原材料・加工賃の上昇及び、円安の急激な進行の影響を受ける一方、当社グループにおきましては、海外シフト率の向上及び為替リスクヘッジのための先物予約による円高効果により影響の低減を図ったものの売上高総利益率は、去年同期を下回る46.8%になりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては32億1百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は9億22百万円（同13.1%増）、経常利益は10億円（同8.5%増）、四半期純利益は6億16百万円（同9.3%増）を計上いたしました。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、41百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	38,236,000	38,236,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	38,236,000	38,236,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	-	38,236,000	-	1,925,273	-	2,202,171

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,989,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,243,200	342,432	-
単元未満株式	普通株式 3,400	-	-
発行済株式総数	38,236,000	-	-
総株主の議決権	-	342,432	-

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ナガイレーベン株式会社	東京都千代田区岩本町 1-2-19	3,989,400	-	3,989,400	10.43
計	-	3,989,400	-	3,989,400	10.43

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は、3,989,416株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,456,392	15,930,997
受取手形及び売掛金	4,622,617	3,853,407
有価証券	216,727	216,757
たな卸資産	3,524,136	4,008,406
その他	428,375	580,578
貸倒引当金	945	796
流動資産合計	26,247,306	24,589,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,645,514	1,618,989
機械装置及び運搬具(純額)	476,810	463,721
土地	4,692,260	4,692,260
建設仮勘定	768,220	773,457
その他(純額)	57,158	61,441
有形固定資産合計	7,639,964	7,609,870
無形固定資産	88,000	86,273
投資その他の資産		
投資有価証券	1,753,800	1,822,001
その他	1,327,718	1,337,551
貸倒引当金	1,873	1,871
投資その他の資産合計	3,079,645	3,157,681
固定資産合計	10,807,611	10,853,825
資産合計	37,054,917	35,443,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,385,739	1,467,227
未払法人税等	1,344,071	344,990
賞与引当金	82,032	161,080
その他	544,645	572,278
流動負債合計	3,356,488	2,545,577
固定負債		
退職給付引当金	343,365	362,757
役員退職慰労引当金	168,160	170,964
その他	98,475	101,545
固定負債合計	610,001	635,267
負債合計	3,966,490	3,180,845

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	2,358,190	2,358,190
利益剰余金	31,886,514	30,961,702
自己株式	3,401,953	3,401,953
株主資本合計	32,768,024	31,843,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,709	122,588
繰延ヘッジ損益	241,693	296,528
その他の包括利益累計額合計	320,402	419,117
純資産合計	33,088,427	32,262,331
負債純資産合計	37,054,917	35,443,176

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	2,978,967	3,201,320
売上原価	1,576,077	1,702,144
売上総利益	1,402,889	1,499,176
販売費及び一般管理費	586,649	576,351
営業利益	816,240	922,824
営業外収益		
受取利息	4,701	4,227
受取配当金	93	96
受取賃貸料	16,048	15,787
為替差益	91,425	62,286
雑収入	3,287	4,937
営業外収益合計	115,556	87,335
営業外費用		
固定資産賃貸費用	10,197	9,910
雑損失	1	0
営業外費用合計	10,198	9,911
経常利益	921,597	1,000,248
特別利益		
固定資産売却益	-	208
特別利益合計	-	208
特別損失		
固定資産除売却損	1,759	163
特別損失合計	1,759	163
税金等調整前四半期純利益	919,838	1,000,294
法人税、住民税及び事業税	334,925	361,119
法人税等調整額	21,101	22,889
法人税等合計	356,026	384,008
少数株主損益調整前四半期純利益	563,811	616,285
四半期純利益	563,811	616,285

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	563,811	616,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,426	43,879
繰延ヘッジ損益	50,163	54,835
その他の包括利益合計	63,589	98,715
四半期包括利益	627,400	715,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	627,400	715,000

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
商品及び製品	2,748,542千円	3,072,017千円
仕掛品	177,965	178,312
原材料及び貯蔵品	597,628	758,076
計	3,524,136	4,008,406

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
減価償却費	60,751千円	62,995千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月28日 定時株主総会	普通株式	1,205,632	35.00	平成24年8月31日	平成24年11月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月27日 定時株主総会	普通株式	1,541,096	45.00	平成25年8月31日	平成25年11月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円37銭	18円0銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	563,811	616,285
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	563,811	616,285
普通株式の期中平均株式数(株)	34,446,597	34,246,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月10日

ナガイレーベン株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田光 完治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 裕輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナガイレーベン株式会社の平成25年9月1日から平成26年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナガイレーベン株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。